

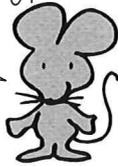
▼今月の『ポピー』の国語で学習するおもな内容と大切なことがらです。

□の数字は、教科書のページ数です。

2年 アレクサンダとぜんまいねずみ □ 115~133

- 生きているねずみアレクサンダと、ぜんまいねずみウイリーの物語です。
- アレクサンダの気持ちの移り変わりを考えながら読みます。
- ウイリーのHEALS
- ウイリーみたいなぜんまいねずみになりたい。
- 魔法のどかげに会いに行く
- ぼくをぜんまいねずみに変えてもらおう。
- 古くなくて捨てられるウイリー
- ウイリーを自分のような生きているねずみに変えてほしい。

捨てられそうになっているぜんまいねずみのウイリーを自由に動けるようにしてあげたい!



1年 お手がみ □ 123~141

- がまくんとかえるくんの、お互いを思いやる心を描いたお話です。
- 二人の気持ちを考えながら読みます。
- がまくん
- 手紙を一度ももらったことがない。
- 来るあてのない手紙を毎日待っている。
- かえるくん
- がまくんが悲しい思いで手紙を待つていることを知り、自分も悲しくなる。
- 自分ががまくんに手紙を出そうと思いつく。
- かえるくんの気持ちをわかったがまくんは、とっても喜んだワン!



4年 木竜うるし □ 115~141

- 「木竜うるし」は登場人物の会話とト書きから構成されている脚本です。
- 登場人物(権八・藤六)の性格の違いや心の動きを読み取ります。
- 権八
- 欲深く、自分勝手。
- 漆を独りじめしようと考え、木竜を置く。
- 木竜が動いたことを恐れる。
- 独りじめしようとしたことを反省する。
- 漆を二人で山分けしようとして持ちかける。
- みんなで分ける気持ちになる。
- 藤六
- お人好しで親切。
- 権八の置いた木竜を見て驚く。
- 作り物の竜と知り、冷静に行動する。
- 村中で分けようと提案する。

3年 おにたのぼうし □ 105~123

- 節分の夜の、小さな黒鬼の子ども(おにた)の悲しみを描いた物語です。
- 次の場面で、人間に対するおにたの気持ちを想像しながら読みます。
- 節分の夜、まこと君の物置小屋を出ていくおにた。
- 女の子の家で、女の子とお母さんの話を聞くおにた。
- 女の子に、「鬼が来れば、お母さんの病気が悪くなる」と言われたおにた。
- 女の子の前から消えてしまったおにた。
- おにたはとっても優しい鬼なのに、人間にはわかってもらえなかったのね。



6年 中学へのMyトレーニング □

- 1月号の「中学へのMyトレーニング」では、小学校で学習した国語の内容が理解できているかどうかをチェックしました。2月号では、そのチェックに基づいて、中学の国語につながる重要な学習内容が復習できるようになっています。
- 特に、1月号のチェックで苦手だと診断された内容は、「ここがポイント」のコーナーをよく読んで理解し、どの問題もできるようにしておきましょう。
- 中学入学までに、苦手なところをなくしておこう!



5年 まんがの方法 □ 87~101

- まんががおもしろいのはなぜか。おもしろさの秘密を述べた説明文です。
- おもしろさを生み出す「まんがの方法」を読み取ります。
- 一ページに五個から十個あるコマの役割
- 登場人物たちの話すせりふ(フキダシ)
- 絵の中に直接書き添えがかれた文字
- 登場人物の表情
- 物語の進行の仕方(省略表現)
- 背景に描かれたなまめの線や丸、点々
- 背景に表されたせりふでない言葉(「ナレーター」の語り)
- 「まんがの方法は、ほかにもあるかも。キミはどんな方法が見つけれられるかな。」

